

1 夏秋スプレーギク現地適応性試験（平張8月出し）

○ 結果の要約

平張8月出し栽培で農業開発総合センター花き研究室育成系統の現地適応性試験を実施した結果、長日・高温開花性があり、花容草姿の優れた夏秋スプレーギク系統「30KS-W09」を選定した。

1 課題の背景とねらい

夏秋スプレーギクはキクの周年栽培に不可欠の品種群で、沖永良部の夏場の気候に適応した耐暑性、長日開花性品種を選定する必要がある。

そこで、本試験では農業開発総合センター花き研究室で育成された13系統の中から特性の優れた系統を選定する。

2 実証内容

(1) 設置場所 和泊町国頭（平張施設）、和泊町畦布（平張施設）

(2) 耕種概要

ア 対象作物 夏秋スプレーギク

イ 作型 8月出し

ウ 定植日、摘心日、消灯日、施肥量

設置場所	定植	摘心	消灯	施肥量 (kg/10a)
和泊町国頭	4月29日	5月12日	6月11日	N : P ₂ O ₅ : K ₂ O = 15.8 : 6.4 : 6.4
和泊町畦布	4月26日	5月17日	6月2日	N : P ₂ O ₅ : K ₂ O = 21.8 : 11.0 : 5.8

エ 電 照 暗期中断5時間

オ 栽植様式：床幅78cm 外側株間13cm, 内側株間13cm, 条間13-39-13cm, 4条植え
2.5本仕立て (42,000本/10a)

(3) 試験区の構成

ア 供試系統 13系統（白系：桃系：黄系＝8：4：1）

対照品種 白系「サザンペガサス」, 「M30SP-W02」

桃系「サザンチェルシー」, 「サザンサマーピンク」

黄系「サザンチェルシーイエロー」, 「サザンライク」

(4) 区制

1区24株 1連制

3 調査結果



「30KS-W09」(国頭)



「30KS-W09」(畦布)



対照品種
「サザンペガサス」(国頭)



対照品種
「サザンペガサス」(畦布)

表1 夏秋スプレーギク8月出しの生育開花特性

系統 品種名	実証 場所	到花日数		草丈		花数(輪)		70cm重 フォーメ ーション (g)	備考	評価					
		(日)	消灯時	収穫時	1次	2次	開花 揃い			花容	草姿	ボリューム	水揚	総合	
30KS-W09	国頭	47	34	95	15	0	77	B	半八重	◎	○	◎	○	○	◎
	畦布	49	38	89	12	0	45	B	半八重						
白系 サザン ペガサス	国頭	54	31	103	11	0	61	B		-	-	-	-	-	-
	畦布	56	34	99	10	0	43	B	下葉は褐斑						
M30SP-W02	国頭	48	34	105	14	0	80	B		-	-	-	-	-	-
	畦布	50	36	97	11	0	36	B	下葉は褐斑						
桃系 サザン チェルシー	国頭	59	37	103	6	0	69	B		-	-	-	-	-	-
	畦布	59	33	91	7	0	47	B							
サザン サマーピンク	国頭	48	31	105	15	1	77	B		-	-	-	-	-	-
	畦布	49	41	95	10	0	42	B	下葉は褐斑						
黄系 サザン チェルシー イエロー	国頭	57	35	93	7	0	64	B		-	-	-	-	-	-
	畦布	59	37	95	8	0	40	B							
サザンライク	国頭	46	34	105	8	0	71	A		-	-	-	-	-	-
	畦布	46	41	106	7	0	35	A	仕立て本数は2本が多い						

注1) 到花日数は、消灯から収穫期50%までの日数

注2) 評価は、対照品種と比較して ◎:優, ○:並(同程度), △:劣

(1) 「30KS-W09」の生育開花特性は以下のとおり(表1)。

ア 到花日数は、国頭47日、畦布49日で白系の対照品種と比較して短く、開花揃いは優れた。

イ 草丈は、出荷規格の草丈70cmを確保でき、花数や70cm重は、白系の対照品種と同程度以上であった。

ウ フォーメーションは、Bで草姿が優れ、水揚げは、白系の対照品種と同程度で良好であった(写真参照)。

エ 葉の病害等は確認されなかった(白系の対照品種では褐斑病発生)。

オ 母株の増殖性は、白系の対照品種と比較して優れた(データ略)。

4 考察

以上の結果から、「30KS-W09」の開花特性は、白系対照品種「サザンペガサス」と同等か、優れており、現地適応性が高いと考えられた。

5 残された課題

(1) 9月出しの生育開花特性評価

6 執筆者 渡辺 剛史